

●今月の断酒表彰

O Hさん 14年 吹田支部
Y Sさん 5年 吹田支部

2022 (令和4) 年 10月1日発行 No.236

編集・発行 事務局・広報部

<https://kz925.com/suita>



断酒表彰おめでとうございます。ますますのご活躍を期待いたします。

断酒に思う 131

吹田支部・O H

二度目の定年退職をして1年半が経ちました。

この3年ほどは、コロナの影響で外出が自粛になったりして生活しにくい環境にあると思います。

仕事をしていた時は、出勤などで(テレワークもありましたが)外出する機会がありました。今はあまり無いです。最近は週に2回ほどのお仕事以外は、自分で用事を作らないと行動半径が狭くなってしまいます。

生活スタイルの変化に順応しなければと思います。生活が乱れると体調・精神衛生が悪くなりそうに思います。

断酒してしばらく時間がたっていますが、生活・体調・精神の変化があるときは、又お酒も近くに寄ってくる可能性が高くなります。

40年以上会社勤めをしていたのでこの生活変化に対応することはなかなかしんどいです。今は、生活の中で時間の使い方を探っていこうと思います。

コロナも今は少し落ち着いてきていますが、又次の波が来るかもしれません。しかし、外出さえ難しかった時期を考えるとその対応も社会的に認知され、少し確立されてきていると思います。これから生活のリズムを作っていく中で見極めていきます。

旅行もしたい、好きな事もしたい、今まで遠慮していたことも少しずつでも行えるよう生活していきます。

でも私の場合は、そこにお酒が入るとすべて壊れてしまいます。生活に変化がある時にはお酒が必ず近づ

く事を忘れず過ごしていきます。

二度目の退職を無事に迎えられたのは、家族の支えを受けて、断酒例会に出席し、断酒ができていることです。

これからの生活は酒に振り回されず自分らしく過ごしていきたいと思います。



断酒会規範

四 断酒会員としての活動は、原則として無償である

われわれの断酒活動は以外に費用がかかる。積極的に取組めば取組むほど金額がかさむ。日常的に開かれている断酒例会、全断連主催のブロック大会、全国大会、加えて、各地で盛んに開催されている研修会、断酒学校、記念大会等に参加することによって、われわれには過去の飲酒代に匹敵する出費がある。

しかし、同じ出費であっても中味がまるで違う。一方はひたすらに破滅の道を辿るための経費であり、一方は新しい人生を生き抜くための経費である。すべてが幸福の追求のために支出されているので、誰も惜しいとは思わない。自前であるのは当然のことである。

酒害相談活動は意外に時間がかかる。相談者は、酒を飲み続けるか断つかの二者択一という簡単なことだとは決して思っていない。酒をやめたくてたまらない半面、飲みたくてたまらない欲求にも駆られているので、そうした心の葛藤が整理されるのに要する説得の時間はぼう大なものになる。 〈中略〉

受けた恩は次の人に、次の人はそのまた次の酒害者につなぐことが、断酒会式の恩返しだと教えられた。これは断酒会員ならではの愛であり、断酒会の尊い伝



続である。

酒害相談以外の、断酒会員が他の会員のためにする行為も無償である。同志愛がさせるものであるからである。

広く社会に向って行われる酒害啓発活動も無償である。広い視野で考えると、酒害者をつくらないこともわれわれの酒害相談活動の中に入るのである。

ただし、例外も若干ある。

現在の全断連及び地域断酒会の事務処理は、会員たちの奉仕活動によって保たれているが、将来組織の拡大が進み、断酒会員を専従職として雇用する必要が生じたときは有償とする。自分の職を捨てて断酒会の仕事のみに従事する会員が無償であることは、無理がありすぎる。

また、組織の役員たちが、組織を代表して公的な会議に出席する場合は、交通費程度は支払われてよい。そうでないと、経済的に恵まれた人のみが役員にならねばならず、信望のある人が選ばれるという原則が崩れるからである。ただし、支給される交通費は機関の承認を得て予算化されたものである。われわれの活動が無償であるからこそ、われわれは愛に充ちた日常活動に生き甲斐を感じているのである。

みんなの広場

京都散策手記



コロナ感染の影響で縮小あるいは中止等を余儀なくされていますが、この五山送り火が3年ぶりに通常の規模で実施されました。

昨年までは大文字山、松ヶ崎妙法、船形左大文字、鳥居の各送り火が縮小されて開催されていましたが、行動規制のないお盆になったために、通常通りの開催となりました。

吹田支部・I S

今年のお盆に、3年ぶりに通常実施された京都五山の送り火を観賞してきました。

京都の夏といえば、祇園祭りなどがあり、

昨年まで母親の菩提を送るために鑑賞してきた私ですが、生まれて初めて間近で見る大文字の送り火にワクワクしていました。

当日は、夕方から曇りがちの天候で雨の予報で開催が心配されました。予報通り送り火点火の30分ほど前から激しい雷雨に見舞われました。まさにバケツをひっくり返したような大雨でしたが、私は大文字山の点火場所に近い場所にタクシーで行きました。そこでは、多くの観客が近くのお店の軒下等で雨宿りしながらその点火を待っていました。

点火場所あたりを見上げると、係員がともす懐中電灯がチラチラするのを見ながらその時を待っていました。やはり



雨の影響で開始予定時刻を10分ほど遅らせて徐々に点火されていきました。私はその点火されていくたびになんとも言えない気持ちになっていました。

母親の魂もこの送り火で他の方々と一緒に帰っていくのだろうな、また来るよ、と心に誓いながら伝統的な炎を見ていました。

3年続けて、大文字の送り火を見ましたので同伴してくれた知人と来年は他の送り火を見ようと話しながら帰路に着きました。 (神社仏閣巡り 五社巡りへつづく)

お知らせ

● **第59回全国(奈良)大会**
と き：10月16日(日)10時~15時30分
ところ：天理大学杉之内第一体育館
※前日行事(家族会・アメシスト・虹の会・シングル)
※当日参加も可能です。ぜひご参加ください。

● **枚方断酒会創立45周年記念大会**
と き：10月30日(日)12時~16時
ところ：枚方市総合文化芸術センター

● **第8回断酒を考える会**
と き：12月11日(日)10時30分~16時
ところ：吹田市勤労者会館
講演：坂本 満さん(リカバリハウスいちご)
※ぜひご参加ください。